

施設名

延長後期間後一括受付

<白色申告の方>

A

【白色申告】1施設当たりの協力金支給額計算フローチャート

以下のフロー図の質問を基に、該当する計算方法を選択していただき、数値を記入してください。

【売上高方式（年間売上高）】

対象施設の開業日は令和2年1月2日以降ですか？
該当する方へ☑してください。

はい いいえ

☑ はい
B.【青色申告】1施設当たりの協力金支給額計算フローチャートの<B-1>をご確認ください。

☐ いいえ

個人事業主で、白色申告書の提出を行っていますか？
※白色申告書の提出をしており、複数店舗を経営したり、飲食店部門以外に売上がある場合は、「いいえ」を選択してください

はい いいえ

☐ はい

☐ いいえ
「B-1施設当たりの協力金支給額計算フローチャート」をご確認ください。

令和元年度の年間売上高が3,041万6,545円(年度日数：365日)を超えますか？
又は、令和2年度の年間売上高が3,049万9,878円(年度日数：366日)を超えますか？
※年間売上高は消費税及び地方消費税を除いた金額としてください。

はい いいえ

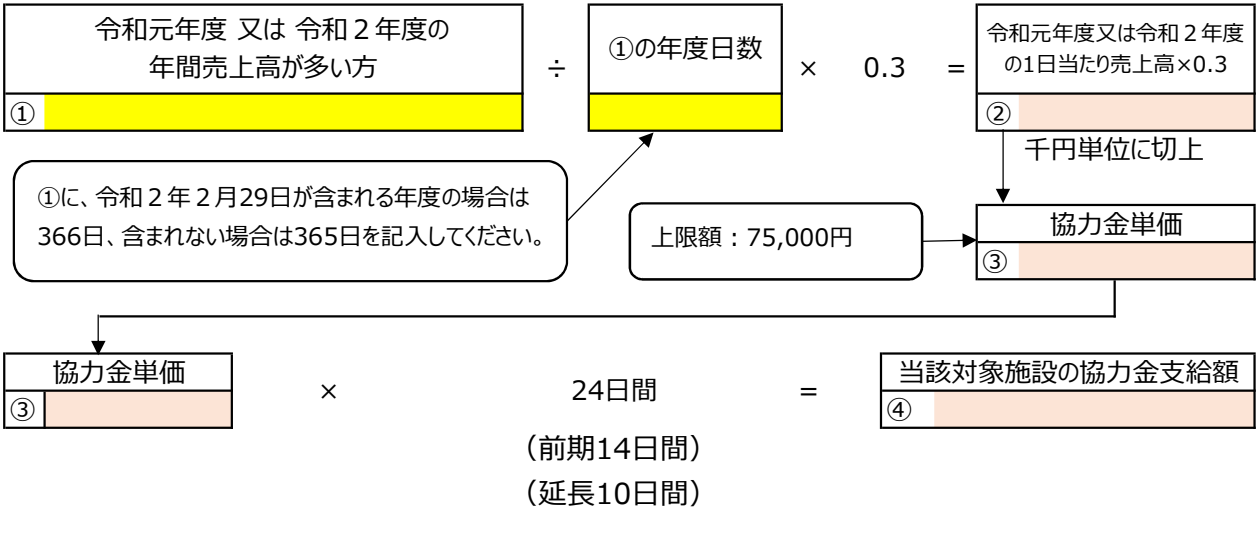
☐ はい

☐ いいえ

協力金単価は、2万5千円ですので、
当該対象施設の協力金支給額は、60万円です。 ※
↑60万円は全日（24日間）申請の場合の支給額です

※ この内容での申請は、「特例申請」に該当し、添付書類を一部省略できる場合があります。詳しくは、申請要領P2をご確認ください。

支給額の計算が必要です。以下を記入して支給額を確定してください。
※年間売上高は消費税及び地方消費税を除いた金額としてください。



裏面の書類を必ず添付してください。

| 売上高がわかる添付書類 | チェックリスト |
|--|--|
| <p><売上高方式（年間売上高）で支給額を算出した場合></p> <p>○ 前年又は前々年の飲食店部門の売上高がわかるもの</p> <p style="padding-left: 20px;">法 人：令和2年度又は令和元年度の法人税の確定申告書 別表一の控え（受付印のあるもの）</p> <p style="padding-left: 40px;">法人事業概況説明書（月別売上高）の控え</p> <p style="padding-left: 20px;">個人事業主：令和2年度又は令和元年度の所得税の確定申告書 第一表の控え（受付印のあるもの）</p> <p>※電子申告をした方は、受付印の代用として「メール詳細（受信通知）」を印刷したものを添付してください。</p> <p>※複数施設を経営している、飲食店部門以外の売上がある場合は、施設ごとの令和2年度又は令和元年度の飲食店部門の売上高がわかる売上台帳等の帳簿の写し</p> <p><合併・法人成り・事業承継特例を利用する事業者の場合></p> <p>○ 合併の場合…履歴事項全部証明書の写し</p> <p>○ 法人成りの場合…履歴事項全部証明書の写し、法人設立届出書の写し、個人事業の開業・廃業等届出書の写し</p> <p>○ 事業承継の場合…個人事業の開業・廃業等届出書の写し</p> | <div style="text-align: center; margin-top: 150px;"> <input type="checkbox"/> </div> |